

## 住鋳エナジーマテリアル株式会社

### 企業の基本情報

代表者：代表取締役社長 久保直樹

進出時期：2014 年

従業員数：約 77 名

敷地面積：約 24,000 m<sup>2</sup>

### 事業概要

400 年以上の歴史を持つ、非鉄金属メーカーである住友金属鋳山株式会社の関係会社として 2014 年に設立。電気自動車用リチウムイオン電池の一部、正極材に使用される、ニッケル酸リチウムを製造。住友金属鋳山グループの強みを生かし、ニッケル原料から電池材料までの一貫体制で、ニッケル酸リチウム正極材を提供。

Q1. 檜葉町に進出した経緯・進出の決め手を教えてください。

なぜ檜葉町に工場を設立したか、それは私たちの仕事を通して「福島の復興」のお手伝いをしたいという気持ちからでした。弊社が、福島県被災 12 市町村の中でも一番初めに立地を決めた企業であり、震災復興に関していち早く貢献したいと考えていました。

Q2. 立地して良かったと思う点を教えてください。

操業に向け様々な業務が発生しましたが、檜葉町の企業誘致担当者は、非常に丁寧かつ迅速に対応顶けました。例えば、採用支援に関しては不安が大きかったのですが、檜葉町の企業誘致担当者は母集団形成に尽力頂き、定員数以上の募集を集めることが出来ました。また、檜葉町だけでなく、補助金等の申請においても、県や国の支援機関担当者の方も親身になって相談にのって頂きました。弊社グループ（SMM）では、これまで様々な地域で立地をしてきましたが、ここまで手厚い支援を受けたのは初めてでした。

Q3. 地域連携・地域企業間連携の方向性について、どのようにお考えですか。

復興は目に見えて日々進んでいます。当社も「雇用の場の提供」「資材調達」「協力会社の採用」などで地元企業と積極的に連携をとり、成長を推進することで、地域復興、発展に貢献することを目指していきたくと考えています。

また、地域企業間連携に関しては、取引価格やサービス品質を正に評価しつつも、出来る限り檜葉町内の企業様と取引をおこないたいと考えています。

Q5.今後の事業展開について教えてください。

当社のコア事業であるリチウムイオン電池の正極材に使用されるニッケル酸リチウム（NCA）の製造事業を安定化させ、檜葉町に根差した企業として成長していくことです。

Q6.最後に、これから進出する企業へのメッセージをお願いします！

最近、産業団地の企業による協議会も発足し、今後は更に企業間連携が進む見込みです。是非、一緒に檜葉町を盛り上げていきましょう！

お写真



(左) 東前さん おすすめスポット：天神岬の展望台から見える美しい太平洋線の景色

(右) 久保さん おすすめスポット：帰還開始から大きく変化し感動を与えてくれた「ヴィレッジ